

科 目 名

建築設計製図 I
Architectural Design
and Drawing I

1年 後期 3単位 必修

西郷 正浩・磯田 桂史
 横堀 肇 (須鎗 敬二)

概 要

設計と製図はそれぞれ、「考える作業」と「伝える作業」です。建築を考え、伝える手段として図面が使用されます。図面とは、つくろうとする建築物（3次元）を2次元で表現し「自分で確認する」「他者に伝える」役割を持ちます。図面で建築の全体像を表現するためには、各種図面を決められたルールで描く必要があります。この授業では、製図と設計の基礎を、比較的簡単な鉄筋コンクリート造（RC造）の建築物を例に学習します。製図の基礎は模写を通して、設計の基礎は小規模施設の設計を通して行います。

学習目標

- (1) 建築図面の一般図の概念が説明できる。
- (2) 製図ルールに則った図面が作成できる。
- (3) 設計とは「抽象的イメージから具体的建築へ展開する作業」であることが認識できる。
- (4) プラン（間取り）と構造体（柱梁）との整合性を意識した設計ができる。
- (5) 階段やトイレ等の基本的な寸法が適用できる。

授業計画

テーマ	内 容
① RC造建築と製図基礎	鉄筋コンクリート建築 VTR/図面種類・縮尺・線の太さの説明/設計課題説明と事例 VTR
② 平面図1	設計課題事例 VTR/平面図説明と平面図模写作業
③ 平面図2	設計課題事例 VTR とレポート1の説明/平面図説明と模写作業
④ 平面図3	設計課題事例 VTR とレポート2の説明/平面図模写作業/レポート1指導
⑤ 架構模型	設計課題レポート3の説明/ラーメン構造の説明/架構模型の説明と作成作業/レポート2指導
⑥ 断面図1	設計課題レポート4の説明/断面図説明/断面図模写作業/レポート3指導
⑦ 断面図2	設計課題レポート5の説明/小テスト（平面図）/断面図模写作業/レポート4指導
⑧ 立面図1	設計課題レポート6の説明/立面図・陰影表現・型枠の説明/レポート5指導
⑨ 立面図2	設計課題最終提出の説明/面積算出の説明/立面図模写作業/レポート6指導
⑩ 設計課題図面1	小テスト（断面図）/設計課題図面の作成作業
⑪ 設計課題図面2	プレゼンテーション（図面）の基礎説明/設計課題図面の作成作業
⑫ 設計課題講評会	作品展示、学生投票、選出作品講評（外部講師参加）
⑬ かなばかり図	かなばかり図説明と模写作業
⑭ かなばかり図	かなばかり図模写作業
⑮ 全体講評	授業アンケート/学生自身による達成度評価/全体講評

授業方法

各図・レポート説明は全体で行い、模写作業の指導は3グループに分けて行います。設計課題のレポート・エスキースの指導はマンツーマンで行います。

学習到達度の評価

- 1) 模写は作業中に見まわり、個別にアドバイスすることで補足します。
- 2) 製図ルールに関する小テストを実施し、理解度の確認と復習を促します。
- 3) 模写で習得した知識が設計課題の製図に応用できているかで、理解度の確認と復習を促します。
- 4) 設計課題制作後に講評会を実施し、課題の捉え方や考え方の理解を促します。
- 5) 講評会には外部講師の参加を要請し、実務者の講評を通して発展学習を促します。

評価方法

模写30%+設計課題レポート15%+設計課題作品55%で評価します。

教科書・教材

建築のテキスト編集委員会 編「初めての建築製図」学芸出版社
 日本建築学会 編「第3版コンパクト建築設計資料集成」丸善
 フランシスD・Kチン（太田邦夫訳）著「建築製図の基本と描き方」彰国社
 配布プリント

参 考 書

フランシスD・Kチン（太田邦夫訳）著「建築のかたちと空間をデザインする」彰国社

履修上の注意

建築設計製図基礎の履修を前提として授業を行います。模写は、授業時間内のみでの作業としますので、集中して取り組んで下さい。設計課題のレポートは、関連図書・雑誌での自己学習を加えて作成して下さい。

オフィスアワー

適宜、昼休み（12:00~1:00）に研究室にて講義内容に関する質問を受付ける。

「建築計画コース・建築構造コース」における位置づけ	必修/選択の別	学習保証時間
本科目は、シラバスに記載されている建築学科の学習・教育目標の主としてB1に関連する。	必修	67.5時間